

熊本県

JAあしきた 新規作物生産者

生産

コスト

営農座談会による作付け推進と 相乗り出荷で、新たな所得の実現



JAあしきた(葦北郡芦北町・津奈木町、水俣市)では、**生産拡大**に向けた営農座談会の開催やJAによる**労働力支援・種子配布**、**コスト低減**に向けた相乗り出荷など、さまざまな取り組みを実践しています。

その結果、2020年度にはタケノコ生産における1戸当たり所得は12.5万円、一寸ソラマメ生産における同所得は11.1万円となり、**農業者の新たな所得を実現**しました。

【JAの具体的取り組みと成果】

生産拡大に向けては、ほとんど販売取扱いがされていなかったタケノコの出荷や水田の裏作での一寸ソラマメの作付け推進のために、2018年度には、10年来開催していなかった営農座談会を開催（管内約20か所）し、JAの**営農職員によるタケノコの選別・箱詰め**、JAが**発芽・低温処理を共同管理したソラマメ種子の無償配布**などを行いました。

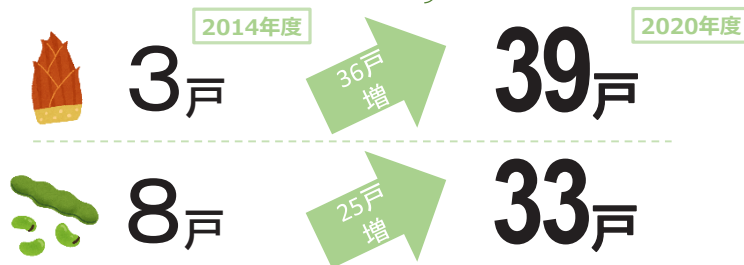
その結果、生産者は、2014年度にタケノコ3戸、ソラマメ8戸でしたが年々増加して、2020年度にはタケノコ39戸、ソラマメ33戸となったほか、昨年11月にはタケノコ部会を結成し、今後ソラマメ部会も結成する予定です。

コスト低減に向けては、タケノコ及びソラマメの出荷にあたり、関東・関西方面への**デコポン・甘夏の出荷トラックに便乗**させることで出荷運賃コストの削減に取り組みしました。

その結果、タケノコ及びソラマメを単品で出荷した場合には60円/kgかかるところ、31円/kgのコスト低減となり、29円/kgでの出荷を実現しました。

これらの取り組みにより、2020年度にはタケノコ生産における**1戸当たり農業所得は12.5万円**、一寸ソラマメ生産における**同所得は11.1万円**となり、**農業者の新たな所得を実現**しました。

タケノコ・一寸ソラマメの生産者数

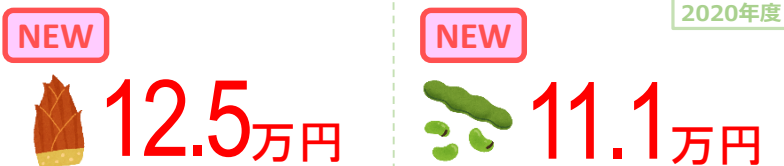


相乗り出荷による
1kg当たりのコスト低減



新規作物の生産における
1戸当たり農業所得*

*各作物の経営試算により、所得を計算



(左から時計回りに、営農座談会、ソラマメ目均し会、タケノコ管理栽培会の様子)

